

行橋市立延永小学校学校通信  
(2018年・平成30年度)

## 延小だより No.9

文月 July 7月 5日 発行

### 【学校目標】

豊かな心を育み、自ら学び、たくましく生きる子どもの育成

### 《校訓》 勤勉

#### ◇ めざす子ども ◇

- ☆ 思いやりの心を持ち、素直で明るい子ども
- ☆ 自ら意欲的に学び、すすんで汗をかく子ども
- ☆ 地域に愛される元気な子ども

# 学習参観・親子レクレーション



6月28日(木)に学習参観と親子レクレーション(4年)がありました。たくさんの保護者の皆様のご参加ありがとうございました。子どもたちの学習の様子はいかがでしたか?おうちの人が見ているということで、いつになく真剣なまなざしで授業に臨んでいました。また、4年生の親子レクレーションでは、親子で楽しい時間を過ごすことができました。



# 汚れた水をきれいにする浄化槽



6月29日(金)に4年生が福岡県浄化槽協会の方を招いて、浄化槽について学びました。私たちが毎日出している生活排水がどれだけ川や海を汚しているのかや、汚れた水をきれいにして川や海に流している浄化槽のしくみなどを、DVDや観察・実験を通して詳しく説明していただきました。その中で、トイレットペーパーは水に細かくできるが、ティッシュペーパーはなかなか水だけでは細かくなれないことや、水をきれいにするために、微生物が働いていることを学びました。この学習で、少しでも環境に

ついて考え、自然を守ることに興味をもつことを願っています。



## **【6年生】社会見学**

**福岡市博物館・ヤフオクドームに行ってきました！！**



【博物館内自由見学】



【みたいけんラボ】



【コカ・コーラシート】

### 子どもの送迎についてのお願い（再掲）

最近、子どもの登下校時に車で送迎する家庭が増えてきました。子どもの体力増進のためできるだけ徒歩での登下校をお願いします。やむを得ず送迎が必要な場合は、子どもの安全確保のため通行に十分配慮していただきますようお願いいたします。その際は、プール横の通路及び体育館渡り廊下の通行はご遠慮ください。

なお、午前7時から午前9時までの間は、延永小学校前の長峽川沿いの道路は、**歩行者専用**となっており、**許可車両以外の通行が規制**されていることもあわせてお知らせします。

#### ◇ 7月の主な行事 ◇

6日(金)	4年生社会見学 習字ボランティア	10日(火)	としよママボランティア
11日(水)	クラブ活動	13日(金)	5年生社会見学
16日(月)	ノーテレビノーゲームデー	17日(火)	としよママボランティア
18日(水)	ゆっくん(返却のみ)		
20日(金)	児童集会 大掃除	21日(土)～	夏休み
23日(月)	夏休み英語教室	24日(火)	保護者懇談会
31日(火)	夏休み英語教室		

## 『一秒の言葉』

小泉吉宏

「はじめまして」  
この一秒ほどの短い言葉に、  
一生のときめきを感じることもある。

「ありがとう」  
この一秒ほどの言葉に、  
人のやさしさを知ることがある。

「がんばって」  
この一秒ほどの言葉で、  
勇気がよみがえってくることもある。

「おめでとう」  
この一秒ほどの言葉で、  
幸せにあふれることがある。

「ごめんなさい」  
この一秒ほどの短い言葉に、  
人の弱さをみることがある。

「さようなら」  
この一秒ほどの言葉が、  
一生の別れになるときがある。

一秒に喜び、一秒に泣く。  
一生懸命、一秒。  
人は生きる。

【小泉吉宏】さんの作品には右の  
ようなものもあります。

おおみそか

昭和60年の大晦日に1回だけ放送された幻のCMで朗読された詩です。商品名も出ず、学校の校舎を背景に、漫画家・絵本作家の小泉宏さんの左の詩が流れるイメージCMでした。放送終了後、この短い言葉に心打たれた人達の反響が広がり、平成20年6月10日の時の記念日にハイビジョン映像で、リメイクが再登場しました。また、この年、小学校の道徳の副読本にも使われるようになりました。日常何気なく発する一秒にも満たない短い言葉。でも、その言葉に人は心を感じ、気持ちを込め相手に伝えます。一秒にも満たない言葉に、人は自分自身の、また送り手の心や思いを感じます。4月に赴任してから、機会をとらえて、「あいさつ」「返事」「感謝」「謝罪」の言葉の大切さを伝えてきたつもりですが、子どもたちは、日々の生活のなかで、「一秒の言葉」をどのくらい伝え、周りの人とつながることができたのでしょうか。この詩を改めて読み、一秒ほどの短い言葉から、いろいろなことを感じ取ることができる感性豊かな子ども達を私たちは育てていかなければならないと思っています。「一秒の言葉」に込める気持ちや「一つの言葉」に込め(られ)た意味をご家庭でも、お子様とともに考える機会をつくっていただけたら幸いです。

